

RESAS

を分析してみよう

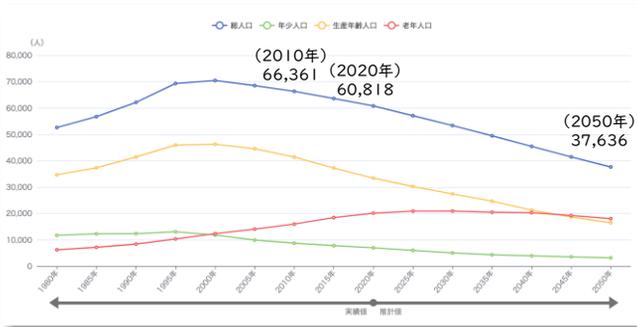
和歌山県
橋本市

RESAS(地域経済分析システム)は、地域経済に関する様々なデータ(産業の強み、人の流れ、人口動態など)をグラフで分かりやすく「見える化(可視化)」したシステムです。データに基づいた地域の実情を把握・分析できるので、ぜひ参考にしてみてください。

人口

<https://resas.go.jp>

RESAS



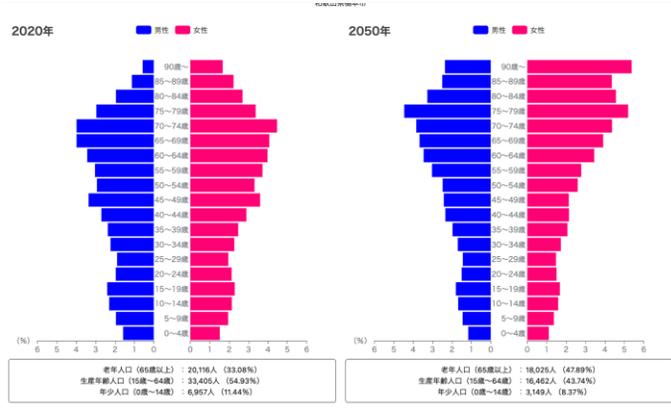
年齢別人口推移

2020年の総人口は60,818人。10年前(2010年)の66,361人と比較して減少しており、今後も減少傾向が続く見込みである。また、年齢別に将来の傾向をみると、年少人口や生産年齢人口は減少傾向、老年人口は緩やかな減少傾向であり、老年人口割合が増加する傾向にある。よって、少子高齢化が一層進んでいく地域である。
※年少人口は15歳未満、生産年齢人口は15~64歳、老年人口は65歳以上をさす。

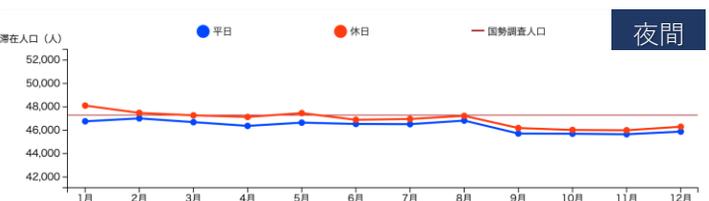
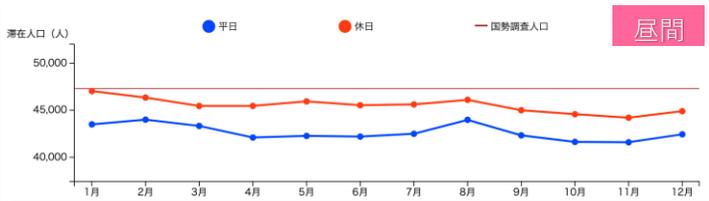
*人口マップ→人口構成→人口推移

人口ピラミッド

現在と将来の年齢別人口構成を示したグラフである。2020年、2050年の人口ピラミッドは共に「つば型」である。老年人口の割合をみると、2020年の33.08%から2050年には47.89%まで増加する。一方、生産年齢人口は2020年の54.93%から43.74%まで減少する見込みである。



*人口マップ→人口構成→人口ピラミッド



*まちづくりマップ→滞在人口率

滞在人口

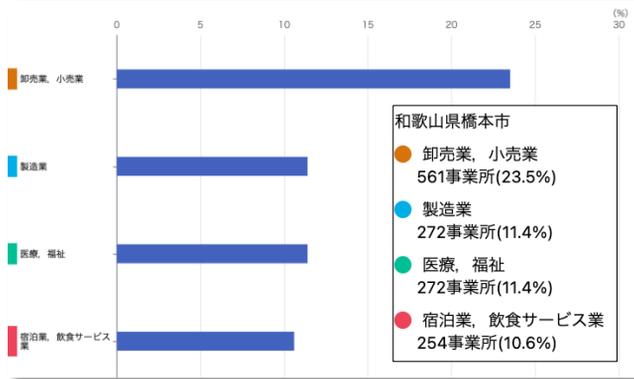
(2022年、上：昼間、下：夜間)

携帯電話の位置情報を元に、市内に滞在している人の数を月毎に示したグラフである。休日昼間の人口は、平日昼間の人口と比べて多いことから、休日昼間は市外から市内への流入人口が、市内から市外への流出人口より多いことがわかる。

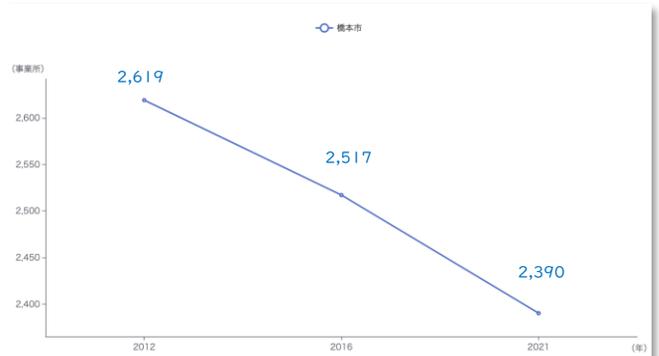
※昼間は14時、夜間は20時のデータ

産業構造

事業所数(事業所単位): 2,390事業所



*産業構造マップ→全産業→全産業の構造



*産業構造マップ→全産業→事業所数

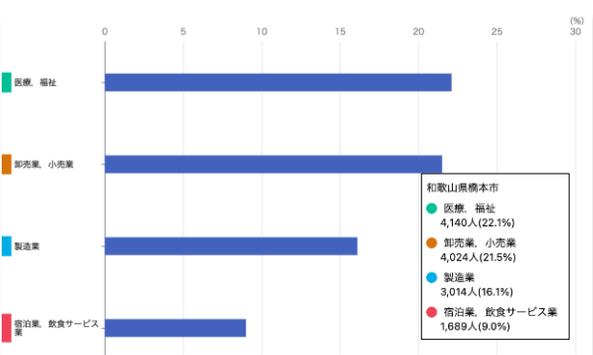
事業所数(事業所単位) 大分類(2021年)

業種ごとの事業所数を示したグラフである。もっとも多いのは「卸売業、小売業」の561事業所で、全体の23.5%を占めている。その後「製造業」の272事業所11.4%が続く。

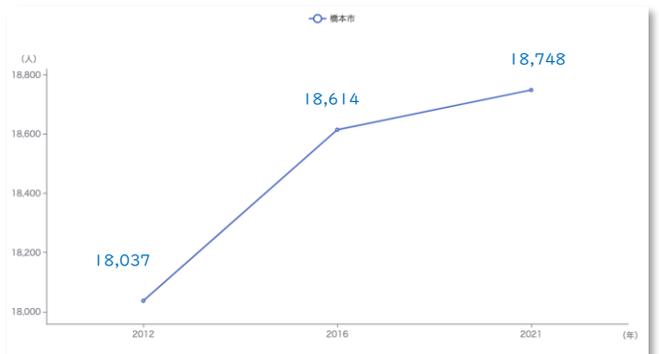
事業所数の推移

事業所数の推移をみる。2021年は2,390事業所。5年前の2016年は2,517事業所だったので、比較すると5%減少している。

従業者数(事業所単位): 18,748人



*産業構造マップ→全産業→全産業の構造



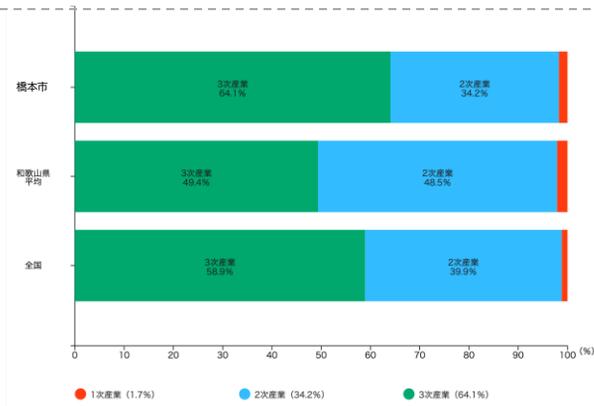
*産業構造マップ→全産業→従業者数(事業所単位)

従業者数(2021年)

業種ごとの従業者数を示したグラフである。もっとも多いのは「医療、福祉」の4,140人で、全体の22.1%を占めている。その後「卸売業、小売業」の4,024人21.5%、「製造業」の3,014人16.1%が続く。

従業者数の推移

従業者数の推移を見る。2021年は18,748人、5年前の2016年と比較すると0.7%増加している。



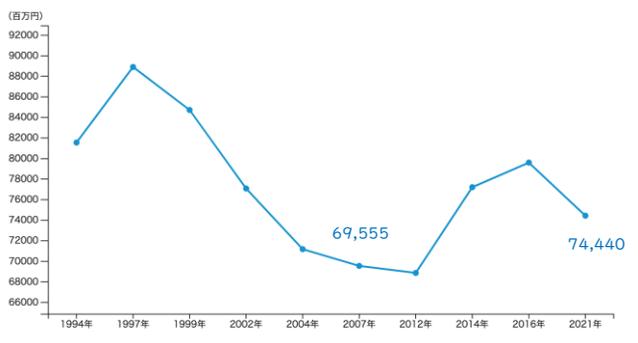
*地域経済循環マップ→生産分析

地域内産業の構成割合

橋本市の産業の構成割合愛媛全国および和歌山県と比較したグラフである。2次産業の割合が34.2%であり、全国の39.9%と比べて低い。一方、3次産業の割合は、64.1%と全国の58.9%に比べて高い。

*1次産業…農業、林業、漁業など
 *2次産業…製造業、建設業、工業など
 *3次産業…商業、金融業、医療・福祉・教育などのサービス業や、外食産業・情報通信産業など

小売業・卸売業



*産業構造マップ→小売・卸売業→年間商品販売額

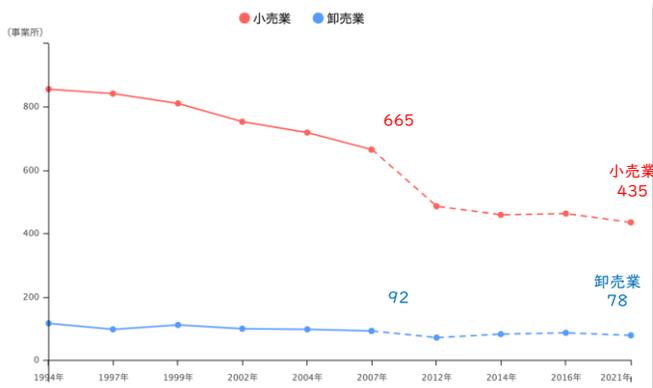
事業所数(小売業・卸売業)の推移

小売業・卸売業の事業所数の推移を示したグラフである。2021年の事業所数は、小売業435事業所、卸売業78事業所である。2007年と比較すると、小売業は34.6%減、卸売業は15.2%減となっている。

*グラフ上の破線は、日本標準産業分類の大幅改定の影響や、「産業統計調査」と「経済センサス活動調査」の集計対象範囲の違い等から、単純に調査年間の比較が行えないことを示している。

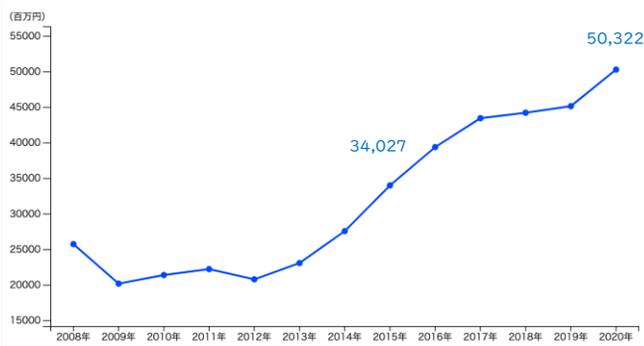
年間商品販売額の推移

小売業・卸売業の年間商品販売額の推移を示したグラフである。2021年の販売額は74,440百万円である。14年前の2007年と比較すると69,555百万円なので、7.0%増である。



*産業構造マップ→小売・卸売業→商業の構造

製造業



*産業構造マップ→製造業→製造品出荷額等

製造品出荷額等の推移

製造業の製造品出荷額等の推移を示したグラフである。2020年製造品出荷額等は、50,322百万円である。2015年と比較すると34,027百万円なので、47.9%増である。

事業所数 (主要製造業) の推移

主要製造業の事業所数の推移を示したグラフである。①繊維工業、②化学工業、が多い。2007年と比べると、①繊維工業は減少しており、②化学工業は増加している。



*産業構造マップ→製造業→製造業の構造

